

中高生写真生活応援マガジン

boys & girls photo magazine
TopEye

No.315

2023 春号



2022年度
👑「TopEyeフォトコンテスト」
入賞作品発表!!



突発企画!!

- 👉 写真部SNS探訪
ネットで出会った元気な写真部、ご紹介!
- 👉 写真部レポート
今回は各地の高校写真展・大会に注目!

👑 TopEye賞

「city」中川 哲平

[東京都立総合芸術高等学校 1年]

「TopEyeフォトコンテスト」受賞作品
(一部)の鑑賞や誌面のダウンロードが
できます。ぜひご覧ください!

ニコ トップアイ

検索



2022年度 TopEye フォトコンテスト

TopEye賞



・賞状
・副賞：Nikon Z 5
24-50 レンズキット

「city」中川 哲平 東京都立総合芸術高等学校 1年

ストーリーを感じさせる組み方の上手さもさることながら、光と影の扱いがとて印象に残る作品です。中年男性の背中に自分の影をあえて重ねたり、トラックに建物の影を落とし込んだりと、写真の光と影を通して“city(都市)”の片隅にあるさまざまな光と影までも表現しています。寂しさの中に、私たちにも覚えがある心象風景と一緒に歩きながら切り取っているような身近さを感じました。プリントにも気を使い、美しい作品に仕上がっています。(藤岡)



2022年度 TopEye賞 受賞

中川 哲平さん
東京都立総合芸術高等学校 1年

受賞のコトバをどうぞ!!

この度はTopEye賞に選んでいただきありがとうございます。受賞の連絡をいただいたときは図書室で静かに喜びを噛みしめました。この写真では変化し続ける東京の形に切り取られた光を通して、都市の一部としての自分を表現しました。早起きして知らない駅で降りてみたり、いつもの道から少し逸れてみたりして街を観察するつもりで撮影し続けました。これからも写真を撮っていこうと思います。本当にありがとうございました。

準TopEye賞



・賞状
・副賞：Nikon Z fc
16-50 VR レンズキット

「舞え」大住 留加 八代白百合学園高等学校(熊本県)2年

落ち葉掃きの動作をオーバーに演出し、落ち葉の動きを組み合わせる躍動感を出した写真です。しかも、同じ紅葉をいっぱいにつけた木を背景とし、掃いた落ち葉が頭上高く舞い上がっているように見せたのがポイント。全体像をきちんと計算した上で撮影場所やアングルを決めているのが素晴らしいと思います。舞い踊る落ち葉の処理も、数枚をカメラにグッと迫る位置に置くなど、巧みに大小をつけて絶妙です。(熊切)



2022年度「TopEyeフォトコンテスト」審査の様子
応募作品数 1,200点

入選

・賞状
・副賞：FLX トートバッグ



「それぞれの春」玉村 心優 福井県立丹生高等学校 3年

「それぞれの春」というタイトルの通り、桜を中心にいろんな場面を切り取った組写真。夕日色の影と桜、水色の空と小鳥、モニターの桜と緑の芝生、女子高生と菜の花と、春らしい色を上手に組み合わせ、季節ならではの楽しい気持ちを素直に表現しています。(藤岡)



「雨がやむその時まで」藤井 花音 群馬県立富岡実業高等学校 2年

アーティスト写真のようにスタイリッシュにまとめられた作品です。大胆に切り撮られた中央の女性のカット。左のカットはデザインが効いており、右のカットは空間をバランスの良い構図で表現できています。それらを統一感のある仕上がりでつなぎ、一体感を上手く演出できました。(熊切)



「あの日の記憶」吉田 有輝 関市立関商工高等学校(岐阜県)3年

シンプルですが、深いストーリーを感じる作品となりました。まず構図が完璧です。大きな花火は巨大な破裂音を想像させます。それを遊具の上で眺める子どもたち。あまりの迫力で一瞬言葉が失ったような静けさを感じます。絵面以上のドラマを感じさせてくれました。(熊切)



「酔いどれ」神藤 康太郎 愛知県立西尾高等学校 2年

東京という街の雑踏、ざわめきを感じる組写真です。コントラストの効いた仕上げにより、都会の乾いた感じを強調。そこに様々な技法を使って動きや変化をつける表現が印象的です。枚数を越えた多くのシーンや感情を呼び起こす作品となりました。(熊切)



「幻想」高梨 優汰 出雲北陵中学・高等学校(島根県)高校 3年

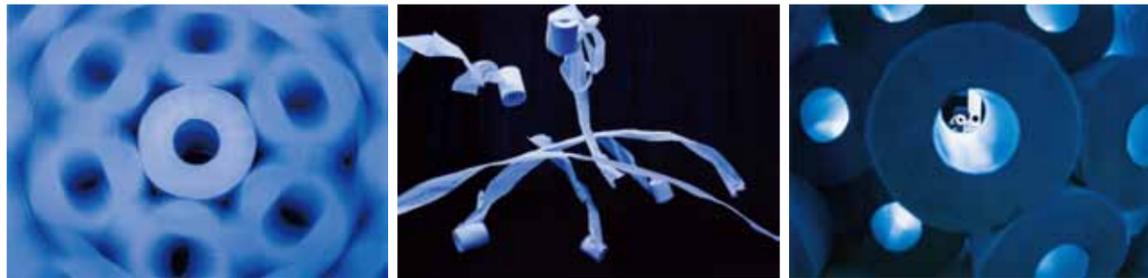
鳥の目を中心に置くことで、まるで自分が鳥の目となりその視線を追うような視覚構成になっています。月や紅葉を敢えてぶれさせることで、飛ぶ鳥のスピード感も感じさせます。色の上でも月、鳥、紅葉をすべて朱でまとめ、落ち着いた秀逸な組写真に仕上げました。(藤岡)

佳作

・賞状
・副賞：ND オリジナルノートブック
Nikon F3デザイン (Moleskine)



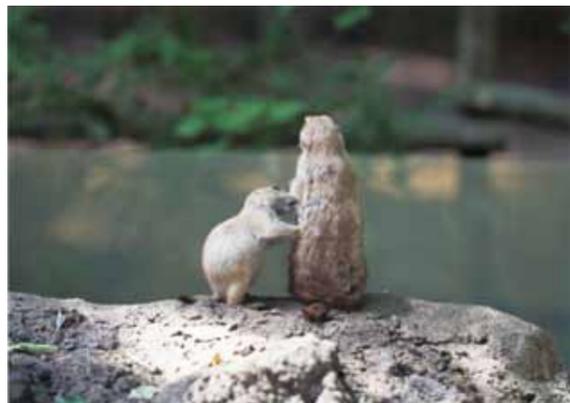
「夏の思い出」
稲田 莉子
和歌山県立神島高等学校 2年



「隠しきれない」柳生 陽音
福井県立丹生高等学校 2年



「視線」田中 碧
滋賀県立河瀬高等学校 2年



「信頼」峯山 亜門
東京都立大泉高等学校 1年



「Blue」南雲 美紗稀
中越高等学校 (新潟県) 2年



「韋駄天走」中川 航
近畿大学附属高等学校・中学校 (大阪府) 高校 2年



「睨み合い」安里 すずら
沖縄県立浦添工業高等学校 1年



「寒郷」菊池 美香
千葉県立四街道高等学校 2年



「楽屋の時間」佐竹 恵人
仙台市立仙台工業高等学校 (宮城県) 3年



「ぼうけん」上江洲 心音
沖縄県立浦添工業高等学校 1年

準 佳作

・賞状



「決断」 廣部 美咲 福井県立丹生高等学校 1年



「ひかり」 角倉 美結 群馬県立富岡実業高等学校 3年



「解放」 戸軽 雫 愛知県立蒲郡東高等学校 2年



「GO!GO!」 今井田 昂也 関市立関商工高等学校(岐阜県)1年



「見えてきたもの」 山下 椋市 広島県立海田高等学校 1年



「旭日昇天」 只野 心優斗 宮城県農業高等学校 2年



「ときいろしたたる」 小野塚 結衣 中越高等学校(新潟県)2年



「みんなで行こうぜえ～！俺達写真部～！」 谷 和紀 群馬県立富岡実業高等学校 2年



「My Signal」 山田 真生 関市立関商工高等学校(岐阜県)2年



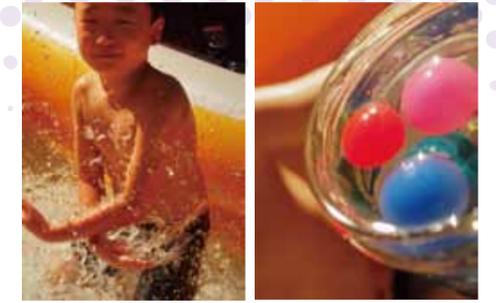
「秘密の読書会」 渡久地 優菜 沖縄県立浦添工業高等学校 1年



「向こうのあなたは誰？」 石川 悠乃 神奈川県立瀬谷高等学校 3年



「どんな極地もこれ一台」 大下 賢実 広島県立海田高等学校 2年



「調和」 佐藤 誉 東京都立総合芸術高等学校 2年



「愛縛」 下浦 茉侑 和歌山県立神島高等学校 2年



「俺はイルカだ！」 小林 愛果 新潟県立長岡農業高等学校 1年



「夏の一大イベント」 佐藤 風雲 宮城県白石工業高等学校 3年



「笑顔でな」 日下志 ひかり 帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)高校 1年



「ふたりの世界」 三宅 望美 神奈川県立瀬谷高等学校 3年



「散歩道」 内田 莉奈 八代白百合学園高等学校(熊本県)2年



「千本浜の夕ぐれ」 加藤 春樹 加藤学園暁秀中学校・高等学校 高校 2年

シャッターを押す喜び これからも感じ続けて

中高生離れした技術を感じさせる作品も多い一方、今回はフレッシュな作品が際立ったように思います。写真のことはまだよくわからないけれど、ものの動きを止めるとか、普段目に留めないものに迫ってみるなど、シンプルな「写す喜び」が表れた作品が多いことを嬉しく感じました。組写真は、巧みなストーリー作りの中に深い思考を感じさせる作品が多く見受けられました。写真は、自分がどんな人間か、何が好きかを気づかせてくれる活動です。これまでのこと、これからのことを思いながら、カメラのある学校生活を楽しんでほしいと思います。

審査員 藤岡亜弥 ▶

広島県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。主な作品に、「さよならを教えて」「私は眠らない」国内外での個展など多数。2017年に出版した写真集「川はゆく」で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛写真賞受賞。

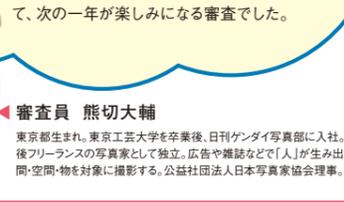


ライブ感ある作品が印象的 ますます期待したい

作品の多様さという意味では、ここ数年で一番だったかも知れません。深みのある表現も見られたし、組写真も増えてきました。組写真はインパクトのある写真をただ複数並べるだけではなく、映画やドキュメンタリーのようなストーリーを表現できるのが醍醐味。単写真の表現力も高めるので、大いに取り組んでもらいたと思います。全体に、ライブ感のある作品が多かったと感じました。コロナ禍は続いているものの、様々な場所へ出向いて人と出会い、生の表情が撮れるようになってきた…そうした背景が読み取れて、次の一年が楽しみになる審査でした。

審査員 熊切大輔 ▶

東京都生まれ。東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部に入社。その後フリーランスの写真家として独立。広告や雑誌などで「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。公益社団法人日本写真家協会理事。



2022年度 TopEye フォトコンテスト入賞作品展

今号で発表した入賞作品を展示します。全国の高校生の写真パワーを、プリントでじっくり体感！会場に今号TopEyeも置いてます！

ニコンプラザ東京 THE GALLERY

3月14日(火)～3月27日(月)

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

4月6日(木)～4月19日(土)

営業時間(両会場とも) / 10:30～18:30
(日曜休館 最終日は15:00まで)



写真部SNS探訪

編集部がWEBの海を泳いで出会った写真部をご紹介します！ネットの世界でも、写真で盛り上がっていきなさいね！

長野県松本蟻ヶ崎高等学校写真部
 arigasaki_photo_club
 顧問：大谷 隆典 先生、有賀 圭子 先生

TopEye編集部
 考え深げなお猿さんの顔に「おおっ」と引き込まれ、いろんな場所で色彩にこだわった作品にワクワク。❤️

TopEye
 こんな波いスポット、たくさんありそうだね。👍

TopEye
 気持ちを見透かすような眼差しがいい。❤️

TopEye
 なんとペットボトルのイルミネーション。👍

TopEye
 現像したフィルムそのものをアートに！👍

TopEye
 部長 北原 大地 さん

部員勧誘のため始めました。今年の1年生は皆これを見て入ってくれたので、効果は上々です。目指せフォロワー500人。県展でもたくさん展示されるのが目標です！

香川県立多度津高等学校写真部
 tadotu_high.school8727
 顧問：前川 英介 先生、西山 卓弥 先生

TopEye TopEye編集部
 洗い古民家専門アカウント?!と思いきや、地域のいろいろや学校生活も楽しくアップ! 👍

TopEye
 こんな古民家写真が、他にもたくさん! 👍

TopEye
 こちらはイルミネーション全景! 👍

TopEye
 負けたチームの土下座?? 体育祭の一コマ。👍

TopEye
 写真部メンバーかな。仲間感がいいね! ❤️

TopEye
 前部長 池本 巨輝 さん

地元の多度津町の歴史や魅力を伝えたくて始めました。なにげなく撮った写真も、結構反応してくれる人がいるので楽しいです。地域の図書館や銀行にも作品展示中!

全国写真部のSNSとつながりたい! ❤️
 インスタグラム、ツイッターなど、SNSをやっている中高写真部、連絡ください。本誌上で、作品とともに紹介させていただきたい! 「始めたよ!」というお知らせも大歓迎です。

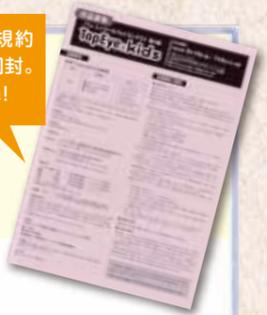
メールはこちらへ → topeye@nikon.com

もうすぐ募集スタート!

第71回 ニッコールフォトコンテスト 第4部「TopEye & Kids」

●応募期間: 3月10日(金)～7月5日(水) ●応募資格: 18歳以下(2023年7月末現在)
 ●使用機材自由/テーマ自由/応募点数制限なし ●ニッコール大賞賞品: 10万円相当「ニコンダイレクト」商品券

今号に応募規約 & 応募票を同封。よく読んでね!



作品応募上の主な注意

作品づくりも頑張りたいけど、応募のルールも大事。規定から外れると失格もあり得るので、気をつけよう!

✔️ **スマホ写真は対象外**
 カメラ付き携帯電話などで撮影した写真は受け付けていません。

✔️ **写真のサイズをよく確認しよう**
 コンテストごとに、募集できる写真のサイズは決まっています。規定外のサイズで送ると審査されないで注意!

- [本コンテストの応募サイズ]
- ・2L (127×178mm)
 - ・四つ切 (254×305mm)
 - ・キャビネ (130×180mm)
 - ・ワイド四つ切 (254×368mm)
 - ・六つ切 (203×254mm)
 - ・B4 (257×364mm)
 - ・A4 (210×297mm)

✔️ **組写真は4枚組まで**

✖️ [縦位置組]か[横位置組]のどちらかに統一。

○ [縦位置組]か[横位置組]のどちらかに統一。

写真はつなげて、応募票に並び順を明記。

✔️ **オリジナルデータは消さないで!**
 入賞した場合、オリジナルデータ(撮影したままの、補正・加工前のデータ)を提出していただきますので、消去せず保存をお願いします。

プリントは「フチ(余白)あり」設定がおすすめ!

「フチなし」だと、両サイドの画像が一部切れるかも!

余白がないと、角が傷つくよ!

✔️ **応募票の記入モレに注意!**

[それぞれの写真の裏側に貼付]

チェックボックスの記入もしっかり!

文字は楷書で読みやすく。

組写真の「並び順」と「枚数」はここに記入。

組写真の場合も、それぞれの写真の裏に1枚ずつ貼ってね。

絞り値、シャッタースピード、ISO感度などはモレが多いよ。

[複数の作品を送る場合に同封]

文字は楷書で読みやすく。

チェックボックスの記入もしっかり!

送る作品数をここに記入

すべてのフォトコンの基本!

「類似作品の応募」「二重応募」に注意!

同じ作品や似た作品を別のコンテストに応募すると、入賞しても取り消しになることがあります。顧問の先生と一緒に確認しよう。

類似作品とは 他の作品とほとんど違いがない作品のこと

NG例

トリミングやアングルだけの違い

画像の加工で要素を追加・消去したもの

縦・横位置の違い

作品 A 作品 B 作品 A 作品 B 作品 A 作品 B

二重応募とは 同じ作品を複数のコンテストに応募すること

NG例

同時期のコンテストに同じ作品・類似作品を出す

受賞済みの作品を他のコンテストに出す

Aコンテスト (10～11月募集 / 12月発表)

Bコンテスト (11～12月募集 / 1月発表)

11月 12月 1月

福井県 9/8～26

写真de上岬に元気。

～福井県立大学 × 福井県立丹生高等学校の地域おこし写真展～

会場：ダイキン工業東京支社（東京都港区）ロビー



丹生高がある越前町は、水仙の三大群生地の一つ。愛着のある花です。(高間晴己さん撮影)



顧問の竹内祐子先生のお話

一昨年から県内各所で水仙の里の写真展を行ってきましたが、ご厚意により東京でも開催できました。もっといろんな機会に地元の良さを伝えたい！

福井県立丹生高等学校が、地元大学の地域おこし活動とコラボ！美しい水仙の花で有名な越前町・上岬地区を取り上げた写真展を東京で行いました。会場を提供してくれた「ダイキン工業」は、この地域の水資源を地域発電に役立てる事業を始めるそう。写真を通したこのようなコラボ活動が、各地で広がるといいですね！

展示作品より



水仙畑は撮影スポットとしても最高。(佐々木悠希さん撮影)



つぼみのうちに刈り入れ、各地へ出荷。(玉村心優さん撮影)



水仙は、越前海岸を望む段々畑で育ちます。(山本知佳さん撮影)



収穫期には、家族総出で汗を流します。(京藤和さん撮影)

コッコツ10回目！

写真展のお知らせ

第10回 福井県立丹生高校写真部写真展

「NYU TREASURE」

3月17日(金)～19日(日) 9時～17時

会場：鯖江市まなべの館
(福井鉄道「西山公園」駅から徒歩3分 / JR北陸本線「鯖江」駅から徒歩20分)

「十代展」

丹生高卒業生も参加！

日本大学芸術学部写真学科1年9人がつくるグループ展

3月11日(土)～19日(日)

12時～19時(最終日は17時まで)
会場：Space Jing
(東京メトロ線「表参道」駅A1、B2出口から徒歩5分)

山口県 10/29～30

周南高校生写真大会2022

会場：周南市立徳山駅前図書館2F

「高校生の感性で、地元の魅力を再発見」そんな狙いで周南市が開催している写真大会です。今年度は、第30回(2022年)林忠彦賞を受賞した写真家の初沢亜利氏を審査員に迎え、地元のカメラ店やニコンも機材提供などで協力。元気に開かれました！



地元の街を巡って撮り歩き！



初沢氏の作品レビューにも熱が入りました。



優勝は県立下松高等学校！

東京都 12/18～25

第45回 東京都高等学校文化祭写真部門 中央大会

会場：なかのZERO西館
美術ギャラリー1(東京都中野区)

49の加盟校から736作品の応募。そのうち入選作品等180作品が展示されました。



参加校持ち回りで、写真部員さんが受付担当！

都立久留米西高校 酒井元樹先生のお話

今年、東京都は高総文祭開催の影響で夏の大会の開催時期を遅らせたため、今回の冬の大会までの期間が短くなり、生徒も準備が大変だったようです。しかし高総文祭運営を経験して各生徒の意識が高まり、工夫された作品が増え、例年よりレベルが高かったと思います。

神奈川県 12/21～25

第49回 神奈川県高等学校総合文化祭 高校生写真展

会場：横浜市民ギャラリー1(横浜市区)

県内38校・316作品を展示。「各校10作品まで」のルールで質の高い作品が集まりました。



地元の新聞にも紹介されました！

県立瀬谷高等学校 石川順一先生のお話

コロナ禍もなかなか落ち着きませんが、2年前に比べると活動制限も少なくなり、頻りに撮影会を実施できました。本校もフォトコンへの応募や入賞が増え、そうした活発さが写真展にも表れたと思います。

写真展のお知らせ

「瀬谷高」ラストの写真展！

瀬谷高 写真部展2012～2023

3月1日(水)～5日(日)

10時～19時(初日は14時から・最終日は17時まで)
会場：瀬谷区民文化センター あじさいプラザ
ギャラリー(相鉄本線「瀬谷」駅直結)

学校再編による校名変更を前に、11年間の活動の総決算。フォトコン多数入賞の質の高い写真を見に行こう！

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL: 03-6718-3018

次号は 6月15日
発行予定です！